

## 地域情報通信基盤整備推進交付金事業の事後評価について

標茶町では町内の情報格差解消を目的として平成22年度に地域情報通信基盤整備推進交付金を活用して情報無線システムを整備し、無線(FWA)インターネット接続サービスを開始しました。

今回、事業開始から5年を経過したことから地域情報通信基盤整備交付要綱第8条により事業評価を実施し、その内容を公表します。

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成22年11月22日			
	総事業費	111,289千円			
	交付金額	31,842千円			
	整備対象地域	虹別・磯分内・多和・沼幌・茶安別・阿歴内地区			
	事業の内容	<p>本町の行政面積は1,099.56km<sup>2</sup>で広大な面積に住居が点在している。本町市街地及び虹別、磯分内、塘路の各市街地以外ではブロードバンドゼロ地域となっていた。</p> <p>平成20年には民間事業者によるFTTHサービスが本町市街地で開始され、当該地域との情報格差が拡大していた。</p> <p>平成20年3月に当該地域の住民で組織する標茶無線LAN誘致の会が発足し、町に対しFWAの要望書が提出され地域要望として期待されたことから、当該地域に対しアンケート調査を実施し、アンケート回答者の約70%がFWAによる整備に期待していることが分かった。</p> <p>また、町内の学校における通信環境は当時14校の内5校がISDN環境であり、インターネットを利用した授業等に関しても学校間、地域間の情報格差が拡大していた。</p> <p>本事業については、本町の広大な面積や地形などの地域状況、対費用効果等を勘案して、町がFWAによるインターネット網を整備し、その後ワイコム(株)へIRU契約により施設を貸し出しインターネット接続サービスを行った。</p>			
BB	サービス開始日	平成22年11月22日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	ワイコム株式会社			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	795	795	795	795
	加入世帯数	20	250	47	56
加入率(%)	3.0%	31.0%	5.9%	7.0%	
評価及び課題	<p>無線LANの契約者数は、目標250世帯に対し、27年度末で56件と、達成率にして22%という状況である。</p> <p>整備計画の目標に対し加入率が伸び悩んでいる理由としては住民の高齢化によるインターネットを使わない世帯の増加と、スマートフォンとLTEの普及時期にも重なり、無線LAN回線の契約をせずにLTEを活用しインターネットを利用するユーザーが増えたことが主な要因と考えられる。</p> <p>上記のとおり現状を踏まえ、これから利用者をどのように増やしていくか、整備した設備の安定的な運用(機器の更新や修理)が今後の課題である。</p>				